

知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校

学校だより 第9号

令和2年10月20日

文責 校長 沖田 龍藏

「辞（じ）は達するのみ。」【論語】は、「言葉は、相手にその意味が伝わるようにすることが大事である。」ことを説いています。

本校の文化祭において、劇のキャストがしっかりと大きな声で、観客に伝わるように発表していました。授業中の発表も同じですね。

学校行事(写生大会、郡市中体連駅伝大会、文化祭等)で成長する田浦中生！



10月に入り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を念頭に、1日(木)校内写生大会・マイ弁当の日、2日(金)3年生うたせ船漁業体験学習、15日(木)郡市中体連駅伝競走大会、18日(日)文化祭等の学校行事を通じて、田浦中生の成長ぶりを感じています。月末の31日(土)には1年生があしきた青少年の家、星野富弘美術館で集団日帰り教室を体験してきます。

写生大会は、秋の田浦の風景を描くことで創造活動の喜び、地域理解を深めることを目的に実施しました。多く

の学校が行事の見直しで止めている写生大会をできるのは、生徒がしっかりと取り組むことができるからだなと感じたところでした。郡中駅伝競走大会は、今年は男子が4位、女子が5位という結果でした。3年生を中心に4月から朝・夕の練習に一生懸命に取り組む「チーム田浦中」の選手たちでしたが、勝負事の厳しさを実感したところでした。しかし、共に汗を流した伝統の襷は、確実に悔しさと共に後輩たちに受け継がれたことを走り抜く選手の姿や今朝の朝練習から感じました。



文化祭は、保護者のみの参加としましたが、今年度は、「和喜相愛 ～一人一人に輝きを～」をテーマに、芸術部、美術、技術・家庭科、国語、総合的な学習の時間、保健体育委員会、給食委員会、防災教育等の授業や委員会活動を中心とした学習成果を、ステージや展示部門で一人一人が存分に力を発揮していました。何よりも嬉しかったことは、田浦中生87名が「一人一役」で、(勿論、先生たちのサポートもあったのですが、)全員参加ができたことでした。また、感心したことは、規模縮小した文化祭に「できることへの感謝」こそすれ、不平・不満を誰一人として言うことはなく、短い準備期間を一生懸命に練習や準備に取り組んでいたことでした。まさに行事を通して、「潤いと輝きにあふれる学校」を自らつくっている田浦中生です。文化祭を保護者の理解と協力を得て成功させることができましたことに感謝申し上げます。



文化祭は、保護者のみの参加としましたが、今年度は、「和喜相愛 ～一人一人に輝きを～」をテーマに、芸術部、美術、技術・家庭科、国語、総合的な学習の時間、保健体育委員会、給食委員会、防災教育等の授業や委員会活動を中心とした学習成果を、ステージや展示部門で一人一人が存分に力を発揮していました。何よりも嬉しかったことは、田浦中生87名が「一人一役」で、(勿論、先生たちのサポートもあったのですが、)全員参加ができたことでした。また、感心したことは、規模縮小した文化祭に「できることへの感謝」こそすれ、不平・不満を誰一人として言うことはなく、短い準備期間を一生懸命に練習や準備に取り組んでいたことでした。まさに行事を通して、「潤いと輝きにあふれる学校」を自らつくっている田浦中生です。文化祭を保護者の理解と協力を得て成功させることができましたことに感謝申し上げます。

ホームページで情報発信「[芦北町立田浦中学校](#)」で検索を

芦北町では、論語教育に力を入れています。孟子の「性善説」とは、人間は生まれながら「善」であるが、その「善」は努力をして伸ばさないと身に付けることができないという考えです。